

# 婦人科病棟でがん化学療法を受ける患者の心理

～患者の知りたい情報を検討する～

キーワード：婦人科 化学療法 患者の心理

A棟6階北病棟 宮島智子, 赤峰絵里 南條友佳

きていない。

## I. はじめに

治療に入る前の患者は、不安や恐怖の状態にある。そのため、治療や処置、副作用とそのコントロール方法などについて、常に正確な情報を提供する必要があるとされている。

当婦人科病棟では、がん化学療法(以下、化学療法)を受ける患者に対し、化学療法への不安を緩和するため、オリエンテーションを行っている。しかし、オリエンテーション後に患者から副作用について質問されることを何度か経験した。そのことから、オリエンテーション内容に患者の知りたい情報が不足しているのではないかと疑問に思った。

これまで、婦人科がん化学療法を受ける患者の心理についての研究はあるが、薬剤や年代別に患者の心理を明らかにした報告は少ない。

そこで卵巣癌・子宮体癌の初回化学療法によく用いられるパクリタキセル・カルボプラチン(以下、TC)療法と子宮頸癌初回化学療法によく用いられるプラトシン(以下、w-CDDP)療法および5-FU・プラトシン(以下、FP)療法を受ける患者それぞれの心理から患者の知りたい情報を明らかにした。

## II. 現状

現在、当病棟は薬剤師による薬剤指導と医師からのインフォームド・コンセントに加え、化学療法を施行する前に受け持ち看護師が、手作りのパンフレットを作成し、オリエンテーションを行っている。受け持ち看護師が個人個人で作成しているため、内容の統一はで

## III. 研究目的

婦人科がん化学療法を受ける患者の心理から、患者の知りたい情報を明らかにする。明らかにした情報は、化学療法のオリエンテーション内容の統一を図る際に活用することを目的とする。

## IV. 研究方法

過去3年の間に40～60歳代で初回化学療法(TC療法15名/w-CDDP療法15名/FP療法4名)を受けた患者の計画立案時から2コース目までの記録(S情報・O情報)を対象に、電子カルテから化学療法メニュー・年代別に患者の心理面が記載された記録を収集する。

収集した情報は患者の化学療法に対する言動をコードとし、それらを類似性のあるもので集めてサブカテゴリーとした。サブカテゴリーをさらに分類し、カテゴリー化した。倫理的配慮として、収集したデータは個人が特定されないようにした。

## V. 結果

TC療法では、症状出現への心配や出現時期・対処方法への疑問を持っていることが分かった。その中でも、脱毛・嘔気・アレルギー症状の出現に対する訴えが目立った。

また「動いていいんですか?」「食べていいんですか?」といった生活への制限に対する質問も聞かれた。(表1)

w-CDDP療法では、嘔気に対して心配や出現時期・対処方法への疑問を持っていた。ま

た、2日間点滴が施行され、さらに蓄尿の指示があるため、「2日間だとつらい」「夜中も持続点滴があることに対して不安」「頻繁にトイレに行かないといけないの?」「トイレに動いたりするのは不安」といった点滴投与時間への心配や点滴中の排泄への心配を訴える患者がみられた。(表2)

FP療法では対象が少なかったため、特徴的なデータは得られなかった。しかし、FP療法を受けた患者にも「(自分には)どんな副作用が起こるだろう」「点滴中はずっと上向いとかなあかん?」と副作用出現の漠然とした

不安や、一週間持続点滴であり、蓄尿指示もあることから、抗がん剤投与中の生活制限に対する疑問を持っていることが分かった。(表3)

それらをコードとして症状別に類似性のあるもので分類し、サブカテゴリーとし、さらにカテゴリー化していくと、「副作用に対する心配」「抗がん剤投与中の生活制限に関する心配や疑問」「抗がん剤投与時の不安や緊張」「治療への期待と不安」「治療を受ける環境」の5つのカテゴリーを抽出することができた。これらはTC療法・w-CDDP療法・FP療法で

表1

カテゴリー	サブカテゴリー	TC療法	コード
副作用に対する心配	脱毛への抵抗や心配	・そんなに(髪の毛)ごっそり抜けませんか? ・今日は毛がごっそり抜けてね、お風呂でバサバサと抜けて、それを集めてたら、なんだか怖くないで来てね。 ・髪の毛は丸刈りにしたら楽やろうと思えますけど、まだこのままにしたい気持ちがあるんです。 ・脱毛が耐え難いわね。 ・こんな2つ(バクリタキセルとカルボプラチン)もあつたら、すぐにはげになるわ。 ・髪の毛が抜けるのが気になります。 ・髪の毛抜けるの嫌やわ。	
	脱毛への対処	・髪がぱさつと抜けてきた。流れたの取るだけでした。脱毛機も落ちて、これからどうしたらいいのかな。 ・だんだん髪が抜けています。お風呂いっても髪を洗ったあとは集まったのを捨てればいいんですけど、乾かした後はバラバラで片付けに疲れますね。姉が来てくれたので助かっています。	
	脱毛の準備	・かっつらって(医療用かつら)ここにきてくれるのかな?先生が一番に脱毛しますってスバツと言うから... ・少し髪切つてようと思えます。	
	嘔気への対処	・とりあえず二瓶くるまでに吐き気をなくしたい。 ・吐き気止め、この間1回だけ食前に飲んだけいいですか? ・今日からノミンを食後に飲むようにして試してみるの。別にいいかな? ・食べないと体重落ちるの嫌だと思ったり、貧血あるから食べなきゃと考えたり、これからずっと続くのかと思うとどくつて、食べやなあかんと思つて食べない。辛いわ。	
	嘔気と食事摂取への困難	・もしも吐き気が強くなつたら困るので、吐き気止めももらいたいです。 ・吐き気とかはないんですけど、これ以上食べるとんどくなるかな?と思つて食べません。 ・もともと食欲はあまりないです方なので、(副作用では)吐き気が気になります。 ・だんだん食欲なくなつてくるかな。 ・食べたらもどすから怖いです。嘔気絶えており、食事をとることに不安感が出ている。 ・むかついたらどうしよう?とか思うとどくつたりするぞうだ。 ・吐き気がなつたからよかつたです。	
	アレルギー症状出現への心配	・アルコールが500mlくらい入るのよね。私、1口飲んだだけでも気分が悪くなるから、それだけが心配です。動悸がしたり気分が悪くなる人がいるって聞きました。 ・アルコールが一週も飲めませんねん。大丈夫かな? ・心電図つけたりと怖いですがね。 ・私、お酒弱いんです。天井まわつたりしないですかねえ。ドクドクしたり、それが本当に心配で、怖いわ。終わつたら怖いけど、これ(バクリタキセル)いく時がめっちゃ怖いわ。 ・バクリタキセル投与時の副作用であるアレルギー症状に不安を感じておられる。 ・アレルギーは(今後)治療できるかどうかにかかってくるから心配。 ・バクリタキセルして胸がどきどきする人がいるんですよね。やってみやなアレルギーもでるかわかんないってたら。 ・アルコールは弱い方です。いつも飲むと顔から赤らへんから赤くなねん。 ・アルコール飲めるから大丈夫と思つて。	
	便秘への心配	・排便が2日ないのが気になります。	
	便秘への対処	・あたし、1回腸閉塞で産着してるんですよ?心配で、心配で、坐薬入れたらあかんかな? ・自分でもできること分振るようになり、身体動かすように気をつけてみます。 ・歩いたり、水飲んだりしてんですけどね、なんでやろう?水は大腸まで届くのかな?	
	骨髄抑制への心配	・朝起きたら喉痛くて、点滴してるから心配で。 ・白血球下がつても、身体に症状が出てこないから心配。	
	鼻出血状態の心配	・先生は歯磨きとかで出血しやすくなるから気をつけるように言つて、私はつい強みがいてしまうのね。気をつけなきゃですね。	
筋肉痛・関節痛への疑問や対応	・痛いわ。今頃なんでこんな痛いの? ・痛み止め、もう少しだけいただけますか?あんまり飲んだらいけないと思うんですけど。(投与後2日目から関節・筋肉痛・しびれ出現し、鎮痛剤や神経用剤で緩和している。		
末梢神経障害への心配	・しびれとかはなかったし、安心しました。		
末梢神経障害への不安	・なあ、ここ赤くない?昨日の点滴のせいやんなあ。 ・結局自分がどんな副作用がでるかやんかあ。もしかしたら人がでえへん副作用が出るかもわからへんし。		
副作用出現への心配	・こんなにもしんどいと思わなかつた。 ・イメージははじめ、むかつきがあつて髪が抜けてと辛そうですね。		
副作用症状の増強	・化学療法の回数重ねる毎に副作用は強くなつたりするのですか?		
副作用の出現時期	・1週間くらいですかね?はげになるのは。 ・副作用の説明聞いたけど、いつ頃から始まるか気になります。 ・副作用については出る時期や目安も聞いていたので、そろそろ筋肉痛もくるかなって思つていて心構えができていたのが良かったです。		
抗がん剤投与中の生活制限に対する疑問	絶食や活動制限があるイメージ	・水分や食事摂取してはいけないと思つていたり、寝たきりになると思つていました。 ・動いていいんですか? ・え、食べていいんですか?点滴中は絶食と思つてたこと。	
	通常の内服の可否	・家から持ってきた漢方は、飲んでもいいですか?	
	治療中の排泄への心配	・点滴中は安静と書いてたけど、トイレはいけないんですか? ・点滴中、歩くの怖いから(トイレ)我慢しようやわ。 ・今日はおとなしく寝てたほうが良いみたいやね。	
抗がん剤投与時の不安や緊張	抗がん剤投与への不安	・初めてなのでどうなるのかな。	
	抗がん剤投与後の不安感	・緊張します。 ・なんともなくてよかったわあ。ほんまにちよつと安心やわ。 ・なんか最初は何だか怖いなかと思つたけど、なんともなくてよかったわ。 ・思つてたよりしんどくなくて大丈夫でした。	
	作用・副作用の継続期	・聞きたいことは毒性のものどれくらいの期間あるかということです。 ・きれいにとれたと言つているのにね。治療しても100%ではないんでしょう? ・受けた方がいって言われたら受けた方がいいのよね。	
治療への期待と不安	治療への受け止め	・こんなんで治療続けられるかな?でも、薬剤師さんが来て、「先生も看護師さんもしんどい薬だつてことは知っている。それを飲んでもらえるのだから、効果のある薬なんです」と聞きました。 ・先生には悪いけど、あと何回やつていけるか自信ないわ。逃げちゃうかもしれない。	
	治療効果の期待	・3日も熱が続くのはめづらしい。抗がん剤がよく効いているってことかな? ・今は周りが変えてくれている人のためにも前向きに頑張ろうと思つています。 ・家族も癌診断の神経に祈禱に行つてくれたり変えてくれます。 ・家のことは気になっていますが、家族で協力して行つてくれているので大丈夫ですよ	
	家族からの支援	・同じ痛みを抱えている人に相談してもらえると心強いです。 ・今後は仕事も休んで治療に専念したいと思つています。	
治療を受ける環境	苦痛を共有できる存在	・両親も病気であんまり身体が強いほうじゃないので、心配をかけたくなつたんですけど、先生からこの病気は家族も一緒に戦わないとんどいって言われて。	
	今後の仕事について	・両親も病気であんまり身体が強いほうじゃないので、心配をかけたくなつたんですけど、先生からこの病気は家族も一緒に戦わないとんどいって言われて。	
家庭の心配			

共通していた。また、薬剤問わず、年代別での結果に相違はなかった。

カテゴリ	サブカテゴリ	コード
副作用に対する心配	脱毛の出現時期	・髪の毛が抜けるのはいつ頃からですか？ ・毎回点滴する度にこんな風になるんですね。嘔気強く、次回化学療法時にも同様の症状が起るのかと心配されている。 ・「こわい、こんだけ吐き止め入れるって、よっぽどしんどい薬なんですね。嘔気への不安がかなり強い印象。」 ・副作用の薬はいついっぺん聞いているので、どれくらい出てくるのか不安です。 ・むかつきがね、一番心配。 ・人それぞれとは思いますが、どれくらいむかつくか心配ですね。 ・「当日よりこれからひどくなるって皆さんから聞くからまだ安心できないわ。」 ・病院食は食べれてないです。むつしますよね。
	嘔気への心配	・いつ吐き気がくるか不安ですね。 ・むかついた時限定的薬はこれからはもっとむかつきひどくなるかと思いつつ、飲み残しています。 ・ピンクのバケツ(ビュールベース)だけで足りるの？溢れたりしない？
	嘔気への対処	・テレビで見た感じでは吐いて吐いてしんどくて、髪の毛が全部抜けたらと思っ てます。 ・このまま何も無いといいけど、そうはいかないな。
	副作用出現への心配	・トイレばかり行かないと駄目ですね。 ・トイレ行ったり動いたりするのはまだ不安だから、おしっこを管入れといても おおうかな。 ・頻りにトイレに行かないといけない？トイレ行ったらなんか気持ち悪くなる から。 ・ポータブルトイレ置くのは嫌や。余計にしちゃうし、みんなおとし。 ・点滴時間が長いのがちょっと...でも1日2日なら大丈夫です。 ・2時間点滴しただけでしんどかったから、今回は2日間どつらいね。 ・48時間点滴しているのはつらいです。だんだん痛くなってるので。 ・点滴はこんなに長い点滴したことないから、ちょっと変わったかな。 ・夜中も持続点滴であることに対して不安ある様子。 ・2日間と化学療法するって聞いているんですけど、2日も続けてするもんなん ですか？
	抗がん剤投与中の生活制限に対する疑問	・抗がん剤投与時の不安や緊張 ・抗がん剤投与への不安 ・治療への期待と不安 ・治療を受ける環境
	抗がん剤投与時の不安や緊張	・最近寝れなくて、何がでないだけ...初めてだし、どうなるのかと。 ・初めてなので不安は不安ですね。
	治療への期待と不安	・「こんなんしんどい治療に耐えられるのかな。」 ・早く家に帰ってあげないと。 ・できれば毎週土日に外泊したいんですけど、子供がおばあちゃんに見ても らってるんですけど、心配で。 ・子供が待つってみたいやから帰ってくる。
	治療を受ける環境	・家庭の心配

カテゴリ	サブカテゴリ	コード
副作用に対する心配	嘔気への心配	・もう吐き気はこないかな。
	便秘への心配	・便秘になるかな。
	副作用出現への心配	・あれこれ説明受けただけ、何が起るんやろ。 ・(副作用説明中)なんかさあ...大変そうやなあ...。震される。 ・副作用の本も読んでたらしんどくなるから、あつちに行っちゃった。 ・副作用のことは聞いて色々心配やけど頑張りますわ。
	副作用出現への心配	・今のところ大丈夫ですけどね。でも、これからどうなるか分からんけど、 どうなるんやろ。色々考えて不安で。
抗がん剤投与時の不安や緊張	・抗がん剤投与への不安	・通常の運動継続について ・運動も駄目？
抗がん剤投与中の生活制限に対する疑問	・治療中は活動制限があるイメージ ・抗がん剤投与時間への	・点滴5日間ずつとあるやろ？ずつと上向いかなあかんのちゃうやう？ ・長いなあ、たくさんあるのやな。
治療への期待と不安	・治療効果への期待 ・治療継続への不安	・何も症状なかったら効いてないみたいやもん。 ・して頂くことが薬道に身体が受け入れてくれたらOKですね。 ・(医薬)とれるわからへんし、ゴールも見えへんやんかあ。

## VI. 考察

TC療法では脱毛・嘔気・アレルギー症状について、w-CDDP療法では嘔気について、心配している症状に特徴がみられたことは、薬剤別にオリエンテーションを施行しているためだと考える。

「脱毛」は女性にとってボディイメージの変容であり、受け入れ難い副作用である。ま

た、「嘔気」は最も苦痛の強い副作用であると言われており、「アレルギー症状」の出現は、今後の治療継続へ影響することから、それらの副作用を心配している患者が多いのだと考える。

小澤は「がん化学療法を受ける患者の不安の緩和には、症状や症状の発現時期、予防、改善方法を具体的に説明し、患者がイメージや理解しやすいようにする。<sup>1)</sup>」と述べている。患者は出現する副作用症状と合わせて、その出現時期や対処方法について、十分な説明を受けることで不安が緩和されるのだと考える。

また、薬剤を問わず、患者は抗がん剤投与中には生活制限があると感じていた。初めて抗がん剤治療を受ける患者は、看護師の予想以上に細かなことへの疑問を持っていることが分かった。

今後は、スタッフが行うオリエンテーションの内容や方法を見直し、症状の出現時期や対処方法、抗がん剤投与時に飲食制限がないことや、歩行・排泄などの活動制限がないことをオリエンテーション内容に追加することが必要である。

さらに、w-CDDP療法やFP療法を受ける患者は点滴施行が長時間となり、さらに蓄尿の指示もあるため、生活に制限がかかることや、点滴中の排泄に心配を持っていた。

これについても、点滴中に移動介助が必要な場合は車椅子やベッドを使用して介助することなどの移動方法の説明や、ポータブルトイレや尿道留置カテーテル挿入など、いくつかの排泄方法があることを、オリエンテーション内容に追加していく必要があると考える。

本研究の限界は、過去の記録よりデータ収集したためデータが少なかつたことである。今後追跡研究を行うことで、さらにオリエンテーション内容を検討できると考える。

## Ⅶ. 結論

- ①使用する薬剤や年代問わず、出現する症状の心配以外にも、副作用の出現時期や対処方法への疑問を抱えていた。また、患者は抗がん剤投与中に生活制限があると感じていた。今後は、それらについてオリエンテーション内容の追加や説明方法の見直しをする必要がある。
- ②点滴時間の長いw-CDDP療法やFP療法の患者は生活に制限がかかることや点滴中の排泄に心配を持っているため、点滴中の移動方法や排泄方法についても情報提供する必要がある。

## Ⅷ. 引用文献・参考文献

- 1) 小澤桂子：理解が実践につながるステップアップがん化学療法看護，学研メディカル秀潤社，89，2010.
- 2) 福島雅典，大野竜三監修：がん患者の心身をサポートする「化学療法」のケア，医学芸術社，2002.
- 3) 板垣昭代：「シリーズ」生活をささえる看護がん患者の看護，中央法規出版，1995.
- 4) 本山清美：総特集 チームで行うがん化学療法 安全・安楽な治療と患者支援，日本看護協会，2008.